

南小 校長からのお願い8ヶ条

平成27年4月

①《職員室の皆で問題を考えましょう》

問題は一人で抱え込まないようにしましょう。担任だけで抱え込まないように。

学年だけで抱え込まないように。学校全体の問題として、問題を早めに共有化させてください。一人で問題解決に当たることだけが、正しいこととは限りません。

②《小まめな「連絡・相談」を》大切に、《小さなことを小さなうちに伝えて下さい》

問題を校長や教頭にこまめに伝えて下さい。

聞いていれば、管理職の責任となります。私は管理職手当の一部は、話を聞いて責任を取るためにもらっていると考えています。教育委員会で働いていてよく思ったことは、「初動の対応ミス」が大きな問題となるということです。大きな問題の解決には大きなエネルギー必要となります。連絡・相談は「小さなうちに できるだけ早く」

③《誠意はスピード》

時間がたつと誠意は伝わらなくなります。対応が遅いことで大きな問題となります。

「問題解決はその日のうちに」を原則で。教職の合言葉「拙速は遅巧に勝れり」

どんな仕事も、誠意はスピードでお願いします。

④《保護者対応のポイントは初期対応とフェイス・ツー・フェイス》

初期対応のまずさは保護者をクレイマーに変化させてしまいます。できるだけ足を運び、顔を見ながらの対応をお願いします。家庭訪問・面談をする時は、一人でなく、複数で。

⑤《記録は口ほどにものを言います》

記憶よりも「記録」。お互い気になることはメモをとるようにお願いします。走り書きのメモで十分です。いざとなったら記録は本当に大切です。

⑥《まずは電話の接遇から》

「学校の常識は社会の非常識」私は出向生活の中で、この言葉を言われることを一番悔しく思ってきました。まずは電話の接遇から。

「はい、津島南小学校の〇〇です。今校長は所用で職員室におりません。後で電話をかけるように連絡します」。

電話のコールは3回を過ぎたら「お待たせしました」の一言を。

業者の方には親しみをもって接し、尊大な態度は慎みましょう。

⑦《信用を失うことのないように》

この心得は、私が一番気を付けなければなりません。子ども・保護者・地域そして同僚の信用を失わないように注意しましょう。私の「パワハラ・セクハラ」を感じたら、すぐに申し出て下さい。「交通安全」に気をつけ、些細な事故も起こしたらすぐに相談を。

⑧《私たちもお互い認め合いましょう お互いの人権尊重をベースに》

私たちは仕事(職場)で巡り合いました。仕事を通した運命共同体です。お互いの仕事を認め合いましょう。子どもたちを愛しく思い、子どもたちの人権も大切にしましょう。